森林環境譲与税に関する令和３年度の決算状況

(1)団体コード	(2)都道府県名	(3)市町村名	(4)事業区分	(5)事業名	(6)事業総額（千円）				(7)事業内容	(8)針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業	(9)実績																				(10)税導入の効果
											森林整備関係									人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用					
											森林所有者への意向確認		間伐等実施面積			路網整備			（ケ）その他	（コ）事業体等への助成		（サ）研修、講習、求人イベント等		（シ）その他	（ス）研修や普及啓発イベント等		（セ）その他	（ソ）公共施設等の木材利用			（タ）その他	（チ）その他	
					(A)＋(B)	(A)うち森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）	(C)「(A)うち森林環境譲与税」のうち、令和4年度への繰越（千円）			（ア）森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積(ha)	（イ）アンケート等による意向確認実施面積(ha)	（ウ）間伐(ha)	（エ）除伐(ha)	（オ）その他（作業種、実績値を記載）	（カ）林道・林業専用道の開設延長(m)	（キ）森林作業道の開設延長(m)	（ク）その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)	うち国産材(m3)			
194255	山梨県	山中湖村	① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林経営管理制度業務	1,729	1,729	0	0	森林情報収集・整理、計画対象森林位置図作成、計画対象森林所有者との協議および境界確認、隣接者との施業界確認を民間事業者に委託。										林分調査及び施業方法検討（15.0ha） 境界確認 （10.7ha）														【ワンフレーズ】税活用により、荒廃している森林について所有者の意向及び現況の確認（R3は38筆確認）、またナラ枯れ被害の村内全域把握を実施し、およそ3,600本の被害木の把握ができた。 【詳細】森林経営管理制度については税活用により意向調査を基に現地調査を実施し、集積計画へと繋がっている。ナラ枯れについてはR3被害調査を村内全域にて税活用にて実施。併せてR2被害の伐倒くん蒸をモデル事業（2本）として実施した。被害を受けていない樹木に対してはTWTトラップによる予防資材を住民に配布（4,669枚・434本）し、予防に一定の効果をあげることができた。 森林経営管理制度およびナラ枯れ事業共に林地台帳のデータを活用して円滑に進めることができた。残額については翌年度被害木伐採利用のために基金に積み立てた。
194255	山梨県	山中湖村	① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	林地台帳データ整備業務	534	534	0	0	林地台帳のデータの整備。森林の所有者のデータ更新（年１回）、台帳の保守業務。										林地台帳保守業務一般														
194255	山梨県	山中湖村	⑤ 森林保護対策	ナラ枯れ被害対策事業	1,615	1,615	0	0	ナラ枯れ未被害木に対し住民に対しトラップを配布し予防事業の実施。ナラ枯れ被害モデル事業として民有林の被害木に対し伐倒くん蒸を実施。タブレットを利用した村内全域ナラ枯れ被害状況調査。										伐倒くん蒸2本 TWTトラップ配布434本分														